※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	歴史総合　新訂版（実教出版）						
副教材等	歴史総合　新訂版　演習ノート（実教出版） 新詳　歴史総合　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象について、常に「なぜそうなるのか」という視点を持って考える。
・歴史地図や年表を活用して、その時代の特徴や歴史的背景を掴む。
・教科書、副教材、ワークシート（授業プリント）を用いて授業をおこなう。

２　学習の到達目標

・それぞれの時代の特徴を理解するとともに、異なる歴史的背景をもつ人々に対する理解を深める。
・疑問点に対して、自分で考察することができる。
・クラスメートとともに、疑問点を挙げて考察し、背景や課題などを議論することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	歴史の扉	・私たちの身近にあるものには，どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。 ・私たちは過去の状況をどのようにして知り，伝えてきたのだろうか。	a:身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 a:絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の重要性と，事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解している。b:身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し，表現している。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート
	近代化への胎動	1　17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 2　江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 3　幕府の政治改革と欧米諸国の日本接近 4　アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化	a:18 世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と，日本への影響について，資料を読み取り，理解している。 b:「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し，みずからの言葉で表現している。 c:18 世紀の世界交易が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。			
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	1　イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 2　フランス革命とウィーン体制 3　アメリカの発展とラテンアメリカの独立 4　オスマン帝国の衰退とロシア 5　江戸幕府の滅亡	a: 18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，オスマン帝国における政治，各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18 世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。 b: 18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して，主題を設定し，世界各地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，東アジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

※令和４年度以降入学生用

	欧米諸国と日本の国民国家形成	1 イギリス･フランスの繁栄とイタリア･ドイツの統一 2 明治政府の諸改革 3 日本のアジア外交と国境問題 4 自由民権運動と大日本帝国憲法	a: 19 世紀後半のヨーロッパや日本における政治，ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に，19 世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 b: 19 世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して，主題を設定し，ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，19 世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴，ヨーロッパ各地域間の関係，日本と欧米諸国との関係などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的･多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
	帝国主義の時代	1 帝国主義の時代へ 2 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 3 日清戦争後の東アジア 4 日露戦争と東アジアの変動 5 日本の産業革命	a: 19 世紀から 20 世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，19 世紀から 20 世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。 b: 19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して，主題を設定し，ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，19 世紀から 20 世紀初頭の日本における政治の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

※令和４年度以降入学生用

	第一次世界大戦と大衆社会	1 第一次世界大戦 2 ロシア革命とソ連の成立 3 米騒動とデモクラシー 4 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 5 アジアの民族運動 6 第一次世界大戦後の欧米諸国 7 ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a: 第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 20 世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	経済危機と第二次世界大戦	1 世界恐慌と各国の反応 2 ファシズムの時代 3 満州事変と軍部の台頭 4 日中戦争と戦時体制 5 第二次世界大戦の勃発 6 第二次世界大戦の終結 7 国際連合の成立と冷戦 8 日本占領と日本国憲法 9 朝鮮戦争と日本	a：世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b：経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

※令和４年度以降入学生用

３学期	冷戦と脱植民地化	1 植民地の独立 2 米ソ両陣営の動揺 3 日本の国際社会復帰と高度経済成長	a：脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b：地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1950 年代の冷戦期から 1970 年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	多極化する世界	1 石油危機と世界経済 2 緊張緩和から冷戦の終息へ 3 日本の経済大国化	a: 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b: アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
	グローバル化と現代世界	1 地域紛争と対立 2 国際秩序の変容	a: 歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 b: 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度